

読書に親しみましょう!! ~子どもが読書習慣を身に付けるために~

青森県子ども読書活動推進計画(第四次)を策定しました

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

県教育委員会では、令和2年2月に子どもの読書活動推進の基本的な方向を示す「青森県子ども読書活動推進計画(第四次)」を策定しました。

計画の期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間です。

家庭・地域・学校を通じた社会全体で子どもの読書活動の推進に取り組みます

家庭で「家読」でコミュニケーション

家族で本に親しみ、子どもと一緒に読書の楽しさを分かち合うことで、家族間のコミュニケーションが深まり、子どもの読書習慣が形成されていきます。

「家読」とは、家族の絆づくりを目的として、家族で本を読み、その読んだ本について話し合う活動です。

ぜひ、「家読」を始めてみましょう。

<取組例>

- 1 家族で話し合っ「家読の日」を決める。
- 2 我が家の「家読スタイル」を話し合っ決めて。
- 3 我が家の「家読の記録」を残す。
- 4 家庭文庫を作る。



地域で 心に残る本との出会い

図書館は、読みたい本を豊富な蔵書の中から自由に選び、読書の楽しみを知ることができる場所です。また、保護者にとっても子どもに読ませたい本を選んだり、相談したりすることができる場所です。読み聞かせやおはなし会を行っている図書館もあります。

地域の図書館に行っ本を手にとってみましょう。

きっと、新しい発見や心に残る本との出会いが待っています。



学校で 本の紹介や本について話し合う活動

友だち同士で本を紹介したり、読んだ本について話し合いをしたりしてみましょう。

こうした活動は、読書の幅を広げ、自分の考えを見つめ直すきっかけとなります。

●読書会

数人で集まり、本の感想を話し合う。その場で同じ本を読む、事前に読んでくる等、様々な方法がある。



●ペア読書

二人で一冊の本を読み、感想や意見を話し合う。

●書評合戦(ビブリオバトル)

読んで面白いと思った本について一人ずつ発表し、その発表に関して意見交換を行う。全ての発表が終了した後に、どの本が一番読みたくなかったかを多数決で選ぶ。

ほかにも様々な取組があります。詳しくは、青森県子ども読書活動推進計画(第四次)をご覧ください。

https://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/suishin-keikaku_4.html 問 生涯学習課企画振興グループ TEL.017-734-9888



「高校生スキルアッププログラム」参加生徒を募集中!

学校外での学習活動で、青森県教育委員会認定の「単位」が取得できます



35単位以上で、県教育長から「スキルアップ認定証」を交付! 参加高校、じわじわ増加中です

青森県教育委員会では、県内の高校生が、知識や経験の幅を広げるとともに、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルを向上させることを目的とした「高校生スキルアッププログラム推進事業」を実施しています。昨年度、様々な活動に参加してレポートにまとめ、見事「スキルアップ認定証」を交付された高校生は26名に達しました。参加状況は以下のとおりです。

参加高校生数 → (R1) 2,590名
スキルアップ認定証交付数 → (R1) 26名
スキルアップ奨励証交付数 → (R1) 7名

参加高校の推移

H29 → 12校
H30 → 16校
R 1 → **21校**

スキルアップ
高校生が
増加中!

20単位取得で、「スキルアップ奨励証」が交付されます(県総合社会教育センター所長認定)

高校生が放課後・土日・長期休業中に、学校外で実施されている講座やボランティア活動への参加、自分で課題を見つけ研究した成果を単位として認定するシステムになっています。これらの学習活動を行い、レポートを書くことで、1時間の学習につき1単位分が取得でき、20単位で「スキルアップ奨励証」、35単位で「スキルアップ認定証」が申請者に交付されます。また、県民カレッジにも同時登録されますので、高校卒業後も単位が引き継がれ、生涯にわたって学び続けることができます。

<対象となる学校外での学習内容>

- ① 公民館等での講座や、大学の公開講座、および各種講演会
- ② ボランティアや各種地域活動、海外交流・インターンシップなどの体験活動
- ③ インターネット、DVD等、映像教材の視聴(令和2年度実施分は10単位まで取得可能になっています)
- ④ テーマを決めて調査・研究する「自由課題研究」(10単位まで取得可能)



獲得・向上したスキルは、大学入試でも活かされます

令和元年度、「スキルアップ認定証」を取得した26名のうち17名(「スキルアップ奨励証」は7名のうち5名)が高校3年生でした。そのほとんどが、大学入学者選抜等の出願資料や面接等に活用しています。プログラムを活用した参加者からは「学校では学べない体験が将来の夢に繋がった」「日常的な物事も多角的に考えられるようになった」「自信を持って自分の言葉でPRできる」などの声が上がっています。このように3年間の活動全てをレポートにまとめることで、大変活用しやすいプログラムになっています。



参加方法等は県総合社会教育センターHP「高校生スキルアッププログラム」をご覧ください http://alis.pref.aomori.lg.jp/kouza_hssp.html

問 青森県総合社会教育センター 育成研修課 TEL.017-739-1253